



半田まちあるき

半田運河～半田赤レンガ建物

豊かな地下水によって、古くから醸造業が盛んな知多半島。その繁栄を加速させたのが、半田運河の存在です。すでに酒どころであった灘などの上方よりも江戸への輸送に地の利があり、尾張藩の後押しもあって、廻船業が栄えました。酒や酢などが、半田運河沿いの醸造蔵から江戸や大坂へと、どんどん出荷されていたのです。そうして運ばれた特産品の一つが、今も半田に本社を置くミツカングループの創業者初代中野又左衛門が発明した粕酢。本来捨てられていた酒粕から作った粕酢は、高価な米酢に代わる手軽な材料として、江戸で「握りずし(早ずし)」のブームを巻き起こし、握りずしの全国への普及につながりました。今も醸造蔵の黒板塀を映す運河は、「醸造のまち」半田の歴史を伝えて、滔々と流れています。

「醸造のまち」の昔と今を訪ねて。



MIZKAN MUSEUM

ミツカンの酢づくりの歴史や、食文化の魅力に触れ、楽しみ学べる体験型博物館です。ミツカンの歴史はもちろん、江戸時代と現代のお酢の作り方をわかりやすく知ることができ、また、紙粘土で寿司をにぎる体験や顔写真入りラベルの「マイ味ぼん」づくりなど楽しい体験もできます。ショップでは、オリジナルグッズや創業時の粕酢を再現したお酢「三ツ判®山吹®」なども販売しています。最新情報はホームページをご確認ください。
<https://www.mizkan.co.jp/mim/>



- 0569-24-5111
- 半田市 中村町2-6
- 9:30～17:00
- 毎週木曜休(木曜が祝日の場合は開館、翌金曜休)、年末年始休

事前予約制

ホームページまたは電話にて事前のお申し込みが必要です。



國盛 酒の文化館

200年ほど前に建てられた古い酒蔵をそのまま利用したお酒の資料館。伝統的な酒造りや古い道具の展示のほか、直売店もあります。

- 0569-23-1499 (事前予約制)
- 半田市 東本町2-24 ● 10:00～16:00
- 毎週木曜休(木曜が祝日の場合は開館、翌金曜休)、年末年始・お盆休
- 入館無料

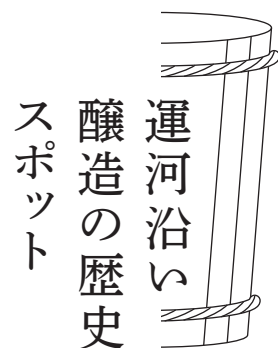


旧中塀半六邸・半六庭園

江戸時代から代々地元の発展に貢献した豪商、中塀半六家の明治22年建築の旧邸宅。現在は飲食店等(フレンチレストラン、バームクーヘン専門店)や貸部屋として利用されています。屋敷前の半六庭園は、来訪者の憩いの場として開園されています。

旧中塀半六邸

- 0569-89-2925 ● 半田市 中村町1-7
- 10:00～17:00 ● 毎週木曜・年末年始休
- 半六庭園
- 0569-84-0689(半田市観光課)
- 半田市 中村町1-7
- 9:00～17:00 ● 年末年始休 ● 入園無料



運河沿いの醸造の歴史 スポット

映画「姿三四郎」のロケ地にもなった。

昭和18年に公開された、柔道家の活躍を描いた黒澤明監督のデビュー作。半田運河では主人公が悪漢を運河に投げ飛ばすシーンなど、3日間にわたって撮影されました。



半田運河

半田運河が位置する衣浦湾は古くは衣ヶ浦といい、江戸時代には多くの舟才船(千石船)が行き来しました。かつて酒や酢の積み出しの港として発展してきた半田運河の周辺には、今でも黒板囲いの醸造蔵や豪商の邸宅が建ち並び、往時の情景を感じさせます。半田運河周辺地区は、平成29年度に、都市景観大賞 都市空間部門で大賞を受賞しました。

半田 まち あるき

醸造と運河の風景に佇み、歴史の記憶を語る赤レンガや新美南吉のふるさとを訪ね歩く。亀崎の不思議な路地に迷い込んでみるのもいい。半田には、今に流れる時の中で人々が紡いできた豊かさがある。

1 半田運河く半田赤レンガ建物

2 新美南吉の足跡をたどる

3 亀崎地区をぶらり

